



こども家庭センター「あるくす」の 1周年イベントを開催しました

3月20日(木)にハレスコでこども家庭センター「あるくす」1周年イベントを開催し、延べ88名の方が来場しました。

イベントでは移動式プラネタリウムや、マジカルバルルーンYesによる大道芸バルーンショーが催され、こども達の声援もあり会場は熱気に包まれました。



ハレスコに巨大なエアドームが出現！
中に入ると、約30人が入るほどの
広いスペースが！
暗闇に移る星空がとてもきれいでした



マジカルバルルーンYesから、
「あやのさん」「あねらさん」
「ことはさん」の3名が出演して
くれました！

子育て支援アプリのリリースがはじまりました

ひらた子育てアプリ「あるくす」の配信が3月19日から始まりました。

アプリでは、妊娠中や子育ての記録、忘れがちな予防接種の管理もできます。

役場からの情報も配信されますので、ぜひダウンロードと登録をお願いします。

『母子モ』はこんなお悩みを解決するアプリです！

- お腹の赤ちゃんの成長や、一生に一度のイベントを大切に記録したい
- 妊娠中の身体の状態ってどうなるの？自分の身体のことだからちゃんと知っておきたい！
- これから必要になる届出や手続きの情報を逃さず知れたらいいのに…
- 子どもの発育や予防接種など、出産後のこともいろいろと不安…

アプリストアからダウンロードして、カンタン登録！

母子モ (ボシモ) で検索！ / 母子モ 検索 OR こちらを 読み取り

App Store からダウンロード Google Play でお申し込み



さんぼんまつまどか
三本松茉花さん
【小平】

むし歯0本 おめでとう！

3月14日実施

これからもむし歯0本
めざして頑張ろう！



やまぐち しょう
山口 翔さん
【小平】



わたべ みつは
渡部 満葉さん
【東山】



つぼい まな
坪井 茉奈さん
【西山2】



にい はると
仁井 悠翔さん
【小平】



むなかた ゆの
宗像 結心さん
【上蓬田】

ひらた中央病院



ひらた中央病院
小原 大治 医師

今回は通所リハビリテーション(デイケア)について 説明します。

通所リハビリテーション(デイケア)とは、要介護者が介護老人保健施設、病院、診療所等に併設された施設に通い、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門スタッフによる機能の維持回復訓練やそこで食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための日常生活動作訓練が受けられるサービスです。主治医の指示によって受けることとなっており、利用者の状態に応じて、個別もしくは集団での訓練になります。

加齢に伴う機能の低下に対して、機能を回復したいという思いは多くの人が願うことです。他者との交流の機会が増え、家族の介護負担を軽減するといった役割もあります。しかし、家族が過剰な期待を抱くことは、本人にとっては、負担になることもあります。本人の意欲や、主治医から現在の病状と今後の回復の見通しを確認して利用していくことが重要です。デイケアが必要とされるのは、病気で寝込んだあとの回復期や、骨折の後に何らかの原因で機能低下がみられる場合などです。デイケアの内容は施設によって異なります。利用者自身の心身の状態に適した施設を選択するために、相談・見学して決めるとよいでしょう。また、専門的なリハビリや医療ケアを受けつつ、より他者との交流の機会を持ちたいという人は、デイサービスとデイケアの併用がおすすめです。

金銭負担は通常規模型施設を利用する場合の利用負担は原則1割ですが、一定以上の所得がある場合は2～3割負担となります。内容としては、食費、おやつ、おむつ代などの「その他費用」もかかってきます。これらは介護保険の対象外のため、全額自己負担となります。食費は施設ごとに自由に設定できるため施設によって差はありますが、500～1000円程度が目安です。デイケア側が用意している日用品を使った場合のみ費用を請求されるため、私物を持ち込むことでコストを抑えられるでしょう。

お問い合わせ: ひらた中央病院 ☎55-3333